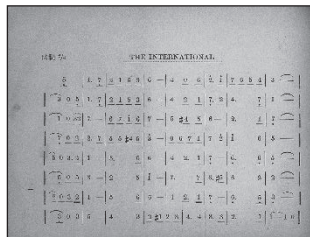


ろうどうかおよびくみあいか

＃34 労働歌及組唱歌

編者：白揚社編集部（はくようしゃへんしゅうぶ）

刊行：昭和2年（1927）



※左より、表紙、楽譜



♪ 解題

■ 唱歌集コレクションへの位置づけについて

明治の「学制」以降、「唱歌」とは、専ら学校教育用の歌曲あるいはその教科目を指す。歌としての唱歌は、小学唱歌とも呼ばれて、文部省作成あるいは指定の歌を指す場合が多く、国民を啓蒙し、日本国民としてのアイデンティティ形成に資するためのものという性格が強かった。そういう意味では、政府や権力を敵対視する色彩の強い労働歌や組唱歌は、唱歌と対極をなすものとも言え、これらを収録した本書は、いわゆる「唱歌集」の範疇からは外れるのではないかと思われる。

しかしながら、特定の共同体への帰属意識や連帯意識を形成、維持するのに資する歌との視点に立ち、労働者の連帯を促す労働歌や組唱歌も、唱歌と同じ文脈に属するものと捉えて論じている場合もある（渡辺裕）。こうしたことから、ここでは、唱歌集のコレクションの一つとして本書を取り上げた。

■ 内容

労働者運動の中で生み出された労働歌・組唱歌 24 曲が収録される。そのうち、「The International」「メーデーの歌（一）（二）」「日本労働総同盟歌」

「大阪鐵工組唱歌」「普通選挙の歌」には数字譜が掲載されるが、多くは、タイトルの後に（「アムール河」の譜）（「あゝ玉杯」の譜）などと元歌が示されるのみで、譜面はない。なお、元歌は先に示した2曲が最も多いが、ほかにも「デツカンショ節」「赤旗の歌」「ヨサコイ節」「マルセイユーズ」「愛する日の本」「青年の歌」「行進歌」「妻をめとらば」「さすらひの歌」「サノサ節」「敵は幾萬ありとても」などがある。

本書で最初に掲載される「インタナショナルの歌」は、パリ・コミューンを契機として生まれ、その後国際的な労働歌の古典となった歌である。翻訳による複数の日本語歌詞があるが、本書掲載の「立て！呪はれしもの！～」で始まる歌詞は、種まき社同人が大正11年（1922）11月にロシア革命5周年を祝って歌おうと計画し訳したものであり、これが、日本においてこの歌が大衆の面前で歌われることとなった最初と言われている。

次に掲載される「メーデー歌」4曲について、（一）「開け萬國の労働者～」を歌い出しとするのは、大正11年第3回メーデーに際し大場勇が作詞したもので、最も代表的なメーデー歌とされる。（二）「櫻も散りて貴人等が～」は、赤松克麿作詞、（三）（四）は作者不詳である。戦前は、毎年メーデーの度に新しい歌が作られたようで、メーデー歌は、本書掲載以外にも多数ある。

■ 検閲について

戦前の日本では明治26年（1893）の出版法に基づいて、政府による検閲が行われており、出版物は発行前に内務省に2部（正本、副本）納入されていた。その後、様々な経緯を経ながらも、引き続き内務省に保管されていた発禁本正本は、終戦後米軍に接收され、その多くが米国議会図書館（以下、LC）に移管された。1970年代になってその一部が国立国会図書館に返還されたものの、残りは現在もなおLCで所蔵されている。平成29年（2017）、これらのLC所蔵発禁本が「国立国会図書館デジタルコレクション内務省検閲発禁図書（以下、NDLデジタル発禁図書）」として公開された。これらの発禁本正本は、見返し紙などを利用して、本そのものが検閲の決裁文書として利用されており、検閲者が注文を付けた箇所メモなども残されているため、当時の検閲の様子を知る貴重な資料となっている。

本書は、このNDLデジタル発禁図書に含まれる1冊(図書館送信資料)で、NDLデジタル発禁図書のものは昭和2年(1927)2月発行(同年2月23日付内務省收受印あり)、当館所蔵のものは同年4月発行と記載される。両者を比較すると、前者に掲載される歌のうち、「水平歌」「全日本無産青年同盟歌」「労働歌」「鑛夫の歌」「搾取の歌」「貧乏神の歌(目次では「貧乏神」)」「プロ桃の歌」の7曲には“削除ノコト”との朱書き書き込みがあり、約2か月後の発行である当館所蔵のものには、これら7曲の掲載がない。その他にも、検閲で指摘があった歌詞の一部が伏字になっている個所なども見られる。

本書の「序」(1926年12月付)附記に編者の言葉として「検閲の関係上、数多の伏字をした上有能な歌を多く削除しなければならなかったことは編者の深く遺憾とする處である。」と記されていることから、検閲を見越して、内容に配慮し編集したことが伺われるが、それでも、結果として当初の形のままでは発行できず、7曲を削除した上で発行にこぎつけたものと推測される。

なお、当館所蔵の本書(昭和2年4月発行)は、国立国会図書館デジタルコレクション(インターネット公開)で閲覧することができる。

■ 収録曲

インタナショナルの歌/The International/メーデー歌(一)～(四)/農民歌/日本交通労働總聯盟交通労働歌/横濱市電共和會々歌/學生社會科學聯合會々歌/國際労働會議の歌/日本労働總同盟歌/高砂工友會歌/團結の歌/官業労働總同盟歌/大阪鐵工組唱歌/日本労働組合總聯合關西聯合會熱血團歌/全日本農民組合同盟歌/同志の歌/女工小歌/女工哀歌/女工サノサ/癩の種ぶし/普通選挙の歌

♪ 参考文献

- ・『日本の革命歌』西尾治郎平・矢沢保編 一声社 1974 [767.6/112]
- ・『歌う国民』渡辺裕著 中央公論新社 2010(中公新書2075)[767.7/238]
- ・「米国に残された戦前の検閲の痕跡:LC所蔵内務省検閲発禁図書」(『国立国会図書館月報』680号 国立国会図書館 2017) [2016.1/14]

- ・眞子ゆかり「本に残された決裁文書：注文の多い間借人」（『国立国会図書館月報』680号 国立国会図書館 2017）[Z016.1/14]
- ・「国立国会図書館所蔵の発禁本」（国立国会図書館 HP リサーチ・ナビ内）
https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-100015.php